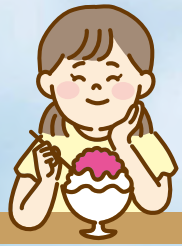


好きな色  
選んでばかりの  
かき氷



友部小6年  
たけだ ゆず梨  
武田 柚梨

# 支部だより ひがし

第171号

(令和6年)  
発行日 2024年6月20日  
発行 笠間市社協東支部  
編集 広報委員会  
印刷 有限会社 テクノプラン



柿橋グラウンドの桜

新年度に当たり、地域の皆様の日頃からのご協力に厚く御礼を申し上げます。  
令和6年度は、新型コロナウイルスの影もいよいよ遠のき、社協の福祉バスも運行復活とあって、支部本来の活動が昨年度以上に順調に進むものと考えられます。言うまでもなく、何が起こるか分からない世の中ではありますが、支部を構成する一人一人が、「地域ボランティアの本分」に立ち返り、地道に誠実に事業遂行に当たる事を、改めて第一の目標に掲げ、具体的には次の諸



支部長  
鈴木 義雄

**地域ボランティアの本分尽くす**  
『令和6年度東支部代議員会開催』

点に特に留意したいと思えます。

◎参加者の様々な声を聴く事を通して、一つ一つの事業の充実につなげる。

◎社協支部という立場を最大限に活用して、一歩進んで能動的な役割を果たす。(例・サロンづくり)

◎支部単独では継続が危ぶまれる事業については、隠さずに一般からの支援協力を呼び掛ける。

◎支部及び女性役員の来年度改選を控え、事業手順の整備等を通して、円滑な業務継承を実現する。

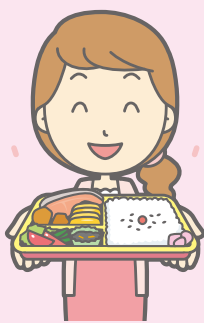
**地域の皆さんを大切に！**  
様々な活動を  
計画しています



女性部長  
石崎 千賀子

女性部の取り組みは、女性部員の皆さんの協力を得ながら、今年度も前年度同様、感染症に充分注意しながら、特にお年寄りの方を対象に、地域に寄り添った活動を行ってまいります。

四ブロックによる「対話と食事会」やバス利用の「ミニサロン」、一人暮らしの方に、民生委員の方々の力を借り、お弁当の配食を行ってまいります。



最後に、女性部員の皆さんとは、研修や新年会等を通して親睦を深め、意見交換をしながら豊かな時間を過ごせるよう計画したいと思いますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

## 令和6年度事業計画

◎「地道に誠実に事業遂行」

### 1 地域交流活動の推進

- 友部小学校との交流
- 特別支援学校との交流
- 通学児童を対象とした交通安全・防犯活動(立哨・防犯パトロール・安全活動のパンフ配布等)
- 地区敬老会へ参画・協力



### 2 人づくり・地域づくり事業への支援

- 地域交流事業への支援
- 「ふれあいサロン」づくりの推進

### 3 高齢者の親睦と健康づくり支援

- 輪投げ大会
- グラウンドゴルフ大会

### 4 子どもの健全育成支援

- 子ども会事業への支援
- 子ども会との交流懇談会
- 子ども会活動助成金給付



### 5 女性部の活動

- 高齢者福祉活動  
4ブロックにおいて開催
- ミニサロン
- 対話と食事会
- 一人暮らし高齢者への配食サービス(年2回)及び調理勉強会
- 「ふるさとまつりinバザー」への出店
- 各種研修・交流
- 女性部研修、新年会

### 6 広報委員会活動

- 広報紙「支部だよりひがし」の発行(年4回)
- 広報委員研修会



### 7 福祉推進員との交流会

支部委員・福祉推進員との交流研修会開催

### 8 笠間市防犯活動の参加協力

- 市防犯連絡協議会の参加
- 年末特別警戒防犯パトロール出発式への参加

### 9 社協会員会費の募集

事業促進のために会員会費を、区長・班長・福祉推進員・民生児童委員の皆様にお願ひし募集しますのでお願いいたします。



令和6年度東支役員  
(\*は新任)

◆執行部◆

支部長 鈴木 義雄  
副支部長 橋本 泰享  
橋本八重子  
石崎千賀子  
会 計 穴戸 正夫  
藤枝 耕平  
監 事 小島 力男  
深谷 章一  
広報委員長 岩田 孝司

◆女性部◆ (\*は新任)

部長 (副支部長兼任) 石崎 千賀子  
副部長 宇佐美弘子 (柿橋)  
瀧本 育子 (宮前鴻巣)  
増淵 明美 (五平)  
\*須藤 敦子 (南友部)



須藤さん

セカンドライフで農業を



鴻巣 大越 浩

会社勤め40年間のうち、約20年近くを千葉、さいたま、東京で単身赴任で過ごしてきました。サラリーマン時代には、農業にはあまり興味を持っていませんでしたが、定年近くの歳になると、セカンドライフとして次の人生を考えるようになり、家に少々畑も有ることだし、農業でものんびりと始めようかと思いはじめたのがきっかけで、現在では農業6年目、約20種類の野菜と栗の栽培をしています。収穫した栗や野菜は、JAへ出荷したり、道の駅直売所にて販売し小遣い程度の稼ぎを得ています。

当初農業を始めた時は、JAの方の指導を受け、小茄子300本程度の栽培から始めました。毎日毎日管理仕



愛犬とのツーショット

事に追われながらも、収穫の喜びを味わいながら、サラリーマン時代とは違う一人気楽な農業を楽しんできました。

今では、農業仲間からも情報を貰い、試行錯誤で色々な野菜の栽培にも挑戦するようになりました。

今年、春先からスナップエンドウ、ブロッコリー、カ

リフラワー、そして玉ねぎ、ニンニク等を始め、初夏からかぼちゃ、茄子、パプリカ、ピーマン、オクラ等、秋には栗、里芋、海老芋、落花生、サツマイモ等、冬にかけては、春菊、ほうれん草等を栽培し、道の駅にて販売していく計画を立てています。

今後の目標として、気楽に楽しめる農業を続け、お客様に喜んで頂ける野菜をもっと作っていかれると思っています。



令和5年度収支決算と令和6年度収支予算 (単位:円)

<収入の部>

科目	令和5年度決算額	令和6年度予算額
繰越金	596,051	777,544
会員会費還元金	1,022,250	1,010,000
福祉コミュニティ助成金	50,000	50,000
広報助成金	102,225	101,000
雑収入	124,665	41,456
合計	1,895,191	1,980,000

<支出の部>

科目	令和5年度決算額	令和6年度予算額
事務費	17,514	20,000
会議費	29,046	50,000
組織強化費	30,957	30,000
慶弔費	0	10,000
事業費	203,957	240,000
女性部	302,923	540,000
広報委員会	237,938	270,000
福祉推進研修会	35,312	60,000
地域活動推進費	260,000	260,000
予備費	0	500,000
合計	1,117,647	1,980,000

ビオトープで里山体験



天神の里を歩く参加者

晴天に恵まれた早春の2月半ば、福祉推進員研修で、南友部の「ビオトープ天神の里」を訪れました。ここには、約300種以上の植物、トンボや蝶など200種以上の昆虫が確認されています。会員による手作りの山小屋が建てられ、貴重な鳥の写真が展示されており、また窓越しにバードウォッチングもできるそうです。季節により、天神の池釣り大会や自然観察会も行われます。

30年前にいた生物を復元保存し、未来へ残せる自然観察地を守ろうと、「天神の里を創る会」(橋本正男代表)の方々が奮闘されています。

里山とは、人と生物の相互関係から成り立っていると学びました。まだ色のない季節でしたが、福寿草の黄色がとても鮮やかでした。

(柿橋 武藤千秋)

祝いの「周年「ちゃお」

ちよっと大人のためのサロン「ちゃお」。毎回趣向をこらし、笑ったり・考えたり・動いたり、脳と体の現状維持を楽しんでいます。

\*毎月第4土曜日10時から柿橋公民館にて開催

詳細は回覧で案内していただきますので、ぜひお顔を出してみてください。楽しいこと間違いなし! (柿橋 武藤千秋)



フラダンスを楽しむ参加者

立哨ボランティア募集!!



社協東支部では、登校する子ども達の安全を見守る「立哨ボランティア」にご協力いただけ方を募集しています。

多くの皆様のご協力をお待ちしています。

達(安全な横断を誘導、確認)します。

【活動用具】安全な活動に必要な、帽子・ベスト・保険などは支部で用意します。

お問い合わせ 詳しくは笠間市社会福祉協議会支部担当までご連絡下さい。

☎77-0730

編集あとがき

若葉香る朝の通学立哨時、子ども達の「元気なあいさつ」は心が和みます。

今年度も、高齢の方も子ども達も元気に過ごしてほしいと願うものです。

「支部だより ひがし」も皆様のご協力を頂き、今回で早くも171号となります。今後ともよりよい広報紙を目指し取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

(穴戸 正夫)